

Hachioji MAIL NEWS



輸送サービス労組八王子地本



2024.12.06

No.070



2024年12月 3日提出

八地申
第8号

車掌が安全で確実かつ安心して 業務ができる設備環境を求める申し入れ

2025年3月ダイヤ改正より実施される中央快速線等グリーン車サービスの導入に向けた準備が着々と進められているなか、グリーン車の組み込みに併せて、各駅のホーム設備等が大きく変更されています。これを受け、八王子地本はJTSU-E 八地申第20号交渉において、12両ホーム設備について、労使で議論をしてきました。しかし、既に先だつて6画面タイプのITVが新宿駅の中央線ホームに付けていることすら「知らない」と回答や、会社施策に伴い変更されている箇所を「把握されていない」等、無責任な対応に終始しており、認識の一致を図ることができていません。

設備の変更に関して、実際に現場で業務を担う乗務員が、工事に立ち会う事を求めてきたものの、現場の声が反映されず、乗降終了「合図」を「表示」に変更することで、御茶ノ水駅においては、ITV越しに乗降終了表示を確認して閉扉できると変更されました。しかし、実際は混雑時などITVで確認することが困難となり、現場社員からは、「不安で安全に乗降扱いが出来ない」との声が多く出ています。この間、目視で確実に合図を確認し、駅相互の一致を図り、乗降扱いを行うことで死傷事故を防いできました。お客さまの「いのち」に関わる業務だからこそ、万全な状態で運行できる環境が必要です。

施策実施ありきで設備等様々変更をすることは、安全を脅かしかねず、施策実施による安全レベル、サービスレベルが低下することは断じて認められません。

従って以下の通り申し入れました。

申し入れ項目

1. ITVで乗降終了表示を確認することで、安全を保てると判断した根拠を示すこと。
2. 御茶ノ水駅、中央快速線上り線、12両乗降扱いは、駅の合図が目視または、乗降終了表示器で確認できるようにすること。

施策実施に伴う安全レベル低下は言語道断！

現場の声に基づいた設備環境の改善が必要だ！